

請願第 15 号

令和 8 年 6 月 15 日受理
福祉医療委員会付託

「コロナワクチン後遺症や接種後死亡した事例について県として
実態調査を行う事を求める」について

請 願 者



紹 介 議 員 下奥奈歩、末永けい

(要旨) コロナワクチンの被害について、愛知県のホームページを確認した際、「新型コロナウイルス感染症に係る罹患後症状(いわゆる後遺症)実態把握調査」に関するページを見つけました。

この調査は既に終了しているようですが、県としてコロナ後遺症の実態を調べておられるのであれば、コロナワクチン接種後に亡くなった方、後遺症となった方についても同様に実態調査を行って頂きたいと考えます。

国が行う予防接種健康被害救済制度では、令和 8 年 4 月 30 日現在、死亡認定件数が 1,070 件となっています。1977 年から現在までに、コロナワクチン以外のワクチンにおける死亡認定件数が 174 件である事と比較すると、コロナワクチンに関する申請や認定件数が短期間で大幅に多い事が分かります。また、私の妻もコロナワクチン接種後、間もなく亡くなりました。妻の事例を含め、県内で起きている被害を実態調査に加えて頂き、県民に広く知って頂きたいと強く願っております。

ついては、下記事項について請願します。

記

- 1 「新型コロナウイルス感染症に係る罹患後症状(いわゆる後遺症)実態把握調査」だけでなく、コロナワクチン後遺症や接種後死亡した事例についても県として実態調査を行う事。
- 2 調査で分かった事を、広く県民に知らせる事。